

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

国名[ニカラグア]

学校名[オコタル市立アドルフオバルガス図書館] 担当教諭名[佐久田 園子(JICA)]

日本学校名[東京都杉の森中学校] 担当教諭名[シュティーベリング育子]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数		日本文化学習	1年
		絵画教室	3週間

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	ニカラグア文化
絵に込めたメッセージ	日本側の作成した中心の日本人女性を、ニカラグアの国花で髪を飾り、ニカラグアと日本の交流、友好を表しました。その肩には、国鳥がとまり、日本側に目を向けています。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>日本文化の紹介、ニカラグア文化の発信の良い機会になった。日本人学生との交流でより日本を身近に感じ、理解を深める事が出来た。</p> <p>ニカラグア文化について改めて誇りを感じる事が出来た。画材や道具など物を大切に使う事を少しずつ実践で学べた。</p>	<p>参加学生の全員が必ずしも同じ時間に集まるとは限らなかった為、作成過程にばらつきがあった。また、始める勢いと意欲は強いが、投げ出さず継続する力を引き出す事が課題であった。</p> <p>相手国の学生とのメッセージやりとりがもう少し出来たら良かった。</p>

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<p>地元メディアを活用し、参加の呼びかけ広報活動を行った。同僚職員が積極的にプロジェクトの広報を多くの人々に働きかけてくれた。</p>	<p>地元の職員、地域の人々も、ニカラグア文化を日本に発信する事に誇りを持ち喜んでいて、完成作品は、各イベントで展示し、より多くの人々に楽しんでもらう事が出来た。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入		日本という国について知る 日本文化・日本語に触れる	とても興味を示し、国際交流を心待ちにしていた。	
情報収集		伝えたい文化を、全員で話し合い、インターネット、本、観光パンフレット等で情報を収集した。	積極的に話し合いを学生主体で進めてくれた。	
テーマ検討		日本側の作品と、どうコラボするのかを検討し、下書きを始めた。	各自がアイデアを出し合い、スムーズに下書きは進んでいった。 日本側の絵をもっと詳しく知りたいという想いが強くなった様子であった。	
制作		絵画指導の職員からテクニックを学びながら、それぞれのパーツ担当で進めた。	熱心に取り組む学生とそうでない学生の差が見られるようになった。お互いに叱咤激励をし、責任性を学べた。	
鑑賞		完成作品を鑑賞	満足感と完成した安心感が見られた。	

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	伝えたい文化のアイデアを積極的に出し合っていた。
異文化の理解	A	5	日本文化に興味を示し、様々の質問が飛び交った。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	英語、日本語で相手に自分の事を伝えようとする意欲が見られた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	インターネット、本、パンフレットなどからの情報収集に積極的であった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	互いにコミュニケーションを取り、進めていた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	3	役割を定め協力して作業を進めたが、作成作業に個人のばらつきが見られた。
学習を追究する意欲	A	3	最後まであきらめずやりにく力が少し足りない部分も見られたが、始める意欲はすばらしかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	相手側に友好を示す為の表現を表す事が出来た。
作品を鑑賞する力	B	3	相手側の文化を読み取ろうとする姿勢があり、一つの完成された作品を創造する事が出来た。